

サイドドラフト式ネブライザ

【警告】
医師又は医療従事者の指示、指導のもとに使用してください

【禁忌・禁止】
人工呼吸装置に本器を接続しないでください。

【形状・構造及び原理等】

材質:本品は送気ホース及び吸入マスクにポリ塩化ビニルを使用。

- 型番 Ym-010サイドドラフト式ネブライザジャー
- 吸入マスク使用



- T型マウスピースとリザーバー管使用
- マウスピース、Tコネクタとリザーバー管使用



■各部の形状と名称

<本体>サイドドラフト式ネブライザジャー



- ・45度迄傾斜動作可
- ・薬液容量20cc
- ・台上に設置可
- ・煮沸消毒不可

本体:PP
キャップ:PP

<付属品>吸入マスク 色:透明(調節用ノーズクリップ、コネクタ、ストラップを含む)



大穴



小穴

サイズ:XL,L,M,S の選択可

<付属品>送気ホース



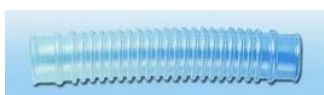
標準長:2M、10cm間隔で要求可。
色:透明
◎コネクタの形状:両端とも標準

<付属品>T型マウスピース



22Mx17F

<付属品>リザーバー管



22Fで長さ:16cm

<付属品>マウスピース



18M/22M

<付属品>Tコネクタ



22M/15F 17F
22M/18F

構成:サイドドラフト式ネブライザキットに上記の付属部品を組み合わせて各全体構成図を実現する。

なお本体及び各付属品は単体でも販売いたします。

原理:外部からの圧縮空気を送気ホースを経てサイドドラフト式ネブライザキットに供給すると、あらかじめサイドドラフト式ネブライザキット内に用意された処方薬液がベンチュリー効果によって吸い上げられ霧状に噴霧されます。吸入マスクやマウスピースにより患者に吸入されます。

・噴霧量:供給流量5L/min時 噴霧量が約0.4g/min以上

【使用目的、又は効果】

患者に吸入させるため、エアロゾル化した水又は医薬品を供給する装置をいう。エアロゾルを発生させる酸素又は空気源、医薬品のリザーバ、バッフル、コンプレッサを内蔵する。(当品目の定義から)

<使用方法>

1. 送気ホースの片端をコンプレッサに接続します。
2. 送気ホースのもう片端をサイドドラフト式ネブライザに接続します。
3. 処方された薬液をサイドドラフト式ネブライザの下部に注ぎます。
4. サイドドラフト式ネブライザの上部を時計回りに閉めます。
5. 吸入のために全体構成図その1、その2、その3のように吸入マスクやマウスピース他を取り付けます。

1. 治療のためにリラックスして座ります。

(できるだけサイドドラフト式ネブライザを傾けない。45度傾斜可能)

2. コンプレッサを作動させます。(流量調節4~8 lpm)
3. 霧が吸入マスクやマウスピースから見えてくるのを確認します。
4. 吸入マスクで口と鼻を覆い口でゆっくり息を吸ったり吐いたりします。マウスピースでは歯の間にくわえて唇を閉じゆっくり息を吸ったり吐いたりします。
5. 霧が断続的になり、霧がほとんど出なくなると治療は終了です。必要によりサイドドラフト式ネブライザキットを指で軽くトン、トンとしても霧がでます。通常は少量の薬液が残ります。

<使用後>

1. 毎使用後に、送気ホースをはずした後サイドドラフト式ネブライザキットの上部を回して水を注ぎ入れ再度送気ホースを接続し残った薬液を洗うためにもう一度圧縮空気を数秒間送ります。
2. その後、分解してすべての部品(送気ホースを除く)を中性洗剤を溶かした温水で洗い、清水ですすぎます。水を振り落として、空気乾燥させ、組み立てなおして清潔に保管します。

<使用方法に関する注意>

- ・使用後毎回洗浄しますが、病人が変わる場合は適切な消毒で交叉感染を防いでください。またはすべての部品を新品に交換する事を推奨します。
- ・すべての部品は使用開始から3ヶ月を最長期間として新品に交換してください。
- ・不要となった本体、付属品の廃棄においてはお住まいの市区町村の指示に従う。

【保管方法及び有効期間等】

<貯蔵・保管方法>

水濡れに注意し、高温、多湿、直射日光のあたる場所を避けて室温で保管すること。

【包装】1セット/1袋

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者:京中貿易株式会社
京都府京都市中京区神泉苑通御池下る神泉苑町1番地2
Tel:075-811-0545

製造業者:Hangzhou Jinlin Medical Appliances Co., Ltd. 中華人民共和国